

# 地域の水辺・生き物調査 2015

この地域の水辺・生き物調査 2015の概要と参加者の活動の様子をご紹介します。

**調査ポイント:** 1. 江戸 2. 大田 3. 立川 4. 海老取 5. 中川 6. 多摩川 7. 立川 8. 立川 9. 立川 10. 立川 11. 立川 12. 立川 13. 立川 14. 立川 15. 立川 16. 立川 17. 立川 18. 立川 19. 立川 20. 立川 21. 立川 22. 立川 23. 立川 24. 立川 25. 立川 26. 立川 27. 立川 28. 立川 29. 立川 30. 立川

**参加者の活動:** 多くの参加者が、水辺の清掃や生き物の観察を行いました。特に、多摩川の水質調査や、立川の水辺での生き物調査が盛んに行われました。

**調査結果:** 調査結果は、地域の環境改善に役立ちました。特に、水質の向上や、生き物の生息環境の改善が確認されました。

## あなたのまちのツバメの子育て情報をお寄せください!

### ツバメの子育て状況から緑地環境を考えてみよう

ツバメの子育て状況は、まちづくりに必要な草や土の確保ができるまちの緑地の環境、エサとなるハエ、カなどの飛翔昆虫の育成環境、そして人との関係性に影響を受けていると予測されています。まちの緑地環境を知る指標としてツバメに着目した調査に取り組んだ地域もあります。

- 多摩:** 1966, 67年の調査報告を基に聖蹟桜ヶ丘駅を中心に調査を行いました。ツバメの巣が激減していることがはっきりとわかりました。
- 日野:** 日本野鳥の会東京との連携でJR中央線の日野駅、豊田駅周辺のツバメ調査に参加。中央線の東京から高尾までの17駅で74巣を発見されたうち38巣が日野駅、豊田駅周辺でみつかった。糞に注意を促す張り紙や、傘を利用した糞除けなど、ツバメと共生するための工夫がみられました。
- 府中:** 活動レポートでツバメ情報を求め、関心のある市民の方から情報が寄せられました。
- 立川:** 情報提供の呼びかけを行いました。今年も継続して取り組み昨年寄せられた巣情報を基にツバメカムバック情報を求め継続調査します。
- 昭島:** 環境団体と協力して市内全域の調査に参加。ネットメンバーで39の子育て中の巣を見つけました。昨夏は多摩川対岸の谷地川合流地点に集団ねぐらが移動してくるという事件が occurred。



## みどりと生き物調査 2016

### まちの生き物探しに下かけよう

水・みどり・生き物のつながりが豊かな環境は、私たち人類にとっても大事な保全すべき環境です。東京・生活者ネットワークでは2006年からの身近な水辺の調査活動や、みどりと生き物調査を継続しています。2015年の各地域の活動を紹介します。

2016年も調査を行います。ぜひご協力ください。

たくさんのツバメの子育て、生き物の情報お待ちしています!



東京・生活者ネットワーク

## 2016 みどりと生き物調査シート

指標生物	見たものに✓	詳細な情報
ツバメ	<input type="checkbox"/> 飛んでいた	月頃
	<input type="checkbox"/> 巣を見つけた	場所: <input type="checkbox"/> 建物の壁 <input type="checkbox"/> ライトやパイプなどの上 その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 子育て中だった	<input type="checkbox"/> 巣作り中 <input type="checkbox"/> 抱卵中  <input type="checkbox"/> ヒナがいる ( 羽 ) <input type="checkbox"/> 巣が壊された (原因: ) <input type="checkbox"/> 子育てに失敗した (原因: )
巣周辺にあるもの	<input type="checkbox"/> 民家 <input type="checkbox"/> 街路樹 <input type="checkbox"/> 公園 <input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 寺社 <input type="checkbox"/> 河川	
鳥類	<input type="checkbox"/> スズメ <input type="checkbox"/> ヒバリ <input type="checkbox"/> その他 外来種 ( )	
昆虫	<input type="checkbox"/> モンシロチョウ <input type="checkbox"/> アゲハチョウ <input type="checkbox"/> アカトンボ 外来種 ( <input type="checkbox"/> アカボシゴマダラ <input type="checkbox"/> ツマグロヒョウモン)	
哺乳類	<input type="checkbox"/> タヌキ <input type="checkbox"/> キツネ <input type="checkbox"/> ハクビシン <input type="checkbox"/> アライグマ その他外来種 ( )	
は虫類	外来種 ( <input type="checkbox"/> ミシシッピアカミミガメ <input type="checkbox"/> クサガメ)	
その他		

お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

ご住所 (町丁目までは必ずお書きください)

調査に関する問い合わせ先  
東京・生活者ネットワーク 組織委員会 〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4F  
電話 03(3200)9189 FAX 03(3200)9274



# 生物多様性の視点で玉川上水を歩いてみた!

玉川上水は、1653年徳川幕府三代目将軍家光の時代に多摩川の羽村取水堰から四谷大木戸まで43キロ、高低差92mの水路が開削されました。江戸市中に飲料水や生活用水を供給したり、33の分水により、武蔵野台地の新田開発に大きな役割を担っていました。羽村から小平監視所までは今も水道原水が流れています。原野だったところに水路ができたことで樹木が豊かに育ち、東京都を横断する貴重な「緑の回廊」となっています。



## 道路や 小金井桜の再生事業で分断されるみどり

小金井桜復活の目的で皆伐された地域。今後6キロにわたり実施される予定だ。

史跡玉川上水整備活用計画図

三鷹市牟礼橋付近  
放射5号線予定地ではすでに樹木が伐採された。上水を挟み両側に道路が通る計画。

小平3・4・23号線工事中  
小平3・2・8号線計画  
放射5号線が建設予定地

多摩川には鳥がいっぱい

水喰土(みずくらいど)公園  
福生・昭島市周辺は、頭を丸坊主にされた木が目立つ。きのこが生え、枯れている樹木も見られる。

立川市周辺  
行政と保全団体が連携して管理している。

玉川上水駅～鷹の台  
2015年10月20日

玉川上水を守る会の庄司徳治さん、NACS-J自然観察指導員東京連絡会の小口治男さんの説明を受けながら歩いた。

笹塚～四谷大木戸  
2015年10月16日

エコ・歴まち歩き案内小山裕三さん、樹木医小林紀雄さん、昆虫協会会員越尾淑子さんに説明を受け歩く。

▲高い樹木が多い初台付近の緑道

▼笹塚駅付近  
素掘り水路の水場を求めてスズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、カラス、ツバメ、カモなどが見られた。

公園的な世田谷区の緑道  
備蓄倉庫などが置かれ、樹木はすくない。

▲三田用水の取水口跡(右)かつては恵比寿ビールの原水としても使われていた。

国際協力機構(JICA)東京隣の緑地  
建物裏手に宇田川源流の池がある。

樹齢200年といわれる「霧銀杏(ホオキイチヨウ)」

新宿駅

四谷大木戸

新宿御苑

四谷大木戸碑  
出土した石礎でつくられている。

新宿御苑内の内蔵新宿分水水道  
国道20号線のトンネル内に入る地下水を循環させている。

上水余水吐き跡 新宿御苑から余水を渋谷谷川に流し、水車を使っていた。三菱鉛筆の工場もあった。

新宿高校内にある石礎  
下水が上水をまたぐ際に汚染しないよう下水を流していた。

明治神宮

代々木公園

西代々木橋跡  
水路の両側はゆるやかな下り坂で上水が連続を通過していたことがわかる。

郵便はがき  
160 0021

切手をお貼りください。

新宿区歌舞伎町2-19-13  
ASKビル 4階

東京・生活者ネットワーク 行

緑地や生物多様性の環境保全に関してのご意見をお寄せください。

玉川上水ドングリ図鑑

常緑樹  
アラカシ シラカシ  
アカガシ スダジイ マテバシイ

落葉樹  
ミズナラ  
コナラ  
カシワ クヌギ

イラスト: さしだふみ